

自由民主党 衆議院議員

小林しげき 活動レポート

国土交通大臣政務官

vol.165

令和3年8月16日(月) 発行



更に詳しい情報は、自民党ホームページをご覧ください。

www.iimin.jp



「8月に平和について考える」

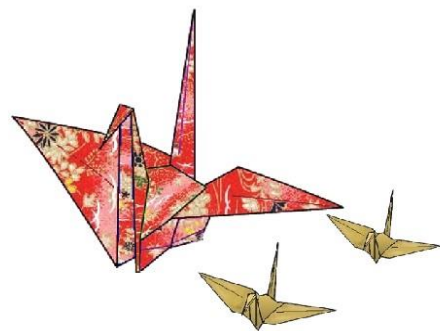
8月15日、76回目の終戦記念日です。

広島、長崎に原爆が投下された昭和20年8月。日本人のみならず、世界中の人々が平和の重要性和命の大切さを考える機会です。奈良公園で開催される「なら燈花会(とうかえ)」では、亡き人に思いを馳せ、ろうそくに火を灯す姿が見られます。(本年は中止)

日本だけで310万人もの命が失われた第二次世界大戦に関しては、戦争に至った原因について様々な角度から研究が進められています。アメリカの公文書の内容が公開され、新たな事実も明らかになっていくでしょう。戦争が勃発する理由は三つあると言われます。領土問題、宗教的対立、資源争奪です。日本が戦争に突入していった不幸な道のり。このことについて深く知ることは、戦争を二度と繰り返さないためにも不可欠です。

私の二人の祖父はいずれも召集され、戦地に赴いています。満州(現在の中国東北部からロシア沿海部)から船で帰国する際に敵国による魚雷の攻撃を受け、奇跡的に生き延びた話などは何度も聞かされたものです。終戦後数ヶ月経っても連絡が無く、夫の死を覚悟した祖母の話。生還したものの、なんらかの心の傷を負っていたかも知れません。戦地で非業の死を遂げた軍人軍属、巻き込まれた無辜の市民の無念さは一体どれほどのものか。想像し、後世に伝えることが私達の世代の責任です。

日本国憲法は、帝国憲法の改正という形式をとったものの、その中身は「日本的なもの」「日本らしさ」を一切除去した内容となっています。また時代の流れに合わない部分も生じています。自民党の憲法改正草案の一つに「自衛隊の明記」があります。自国の領土と国民の命を守ることは、独立国として当たり前のことです。平和を実現するための憲法改正への努力は、私達の「世代の責任」です。



小林しげき 〒631-0824 奈良市西大寺南町1-3-3F
後援会事務所 TEL0742-35-6700 FAX35-8633

<http://www.kobayashi-nara.com>

ホームページ



公式 LINE



SNS配信中

命と責任ある行動

東京オリンピック 2020 で、一山麻緒選手は女子マラソンで日本勢トップの8位入賞を果たしました。実は、前日にスタート時間が1時間繰り上がりました。一山さんは、前日の就寝後の19時過ぎに部屋をロックされ関係者から変更を知りました。そこから朝方まで寝られなくなったという中、当日の湿度が高い猛暑の中でパフォーマンスを発揮され、強豪ぞろいの中見事入賞されたことは、日々の鍛錬の積み重ねと強い精神力の賜物だと思います。

この話には別の側面もありました。一山さんの話を受けて言及した組織委員会の中村英正メインオペレーションセンターの話があります。

「本当にラストミニッツ（直前、土壇場）で（暑さ対策のため）できたところと迷惑をかけてしまったところの両面がある。もっと早くできたのではないか、という声に対しては自分もそう思う」と受け止めた。その上で、変更の理由については「選手とIF（国際競技団体＝世界陸連）から声が出てきたと聞いている」と、現場からの要望を受けての気温上昇対策だったと説明。「プロセスについては、つまびらかには承知していないが『選手の健康に影響がありますよ』と言われると、それに対して『もう開始時間は決まっているから』『予定通りで』とは組織委としては言えない」と対応に当たったという。「選手の健康、命に対して、強い声が出てきた時に『動かない』という選択肢はなかった」とも強調した上で、選手に対しては「アスリートの立場から見て『もう少し早く』という声は真摯に受け止め、今後の対応に生かしていく」と約束したということです。

（日刊スポーツより抜粋）

戦っていたのが、選手だけでなく、現場のスタッフ全員であったことがよくわかりました。選手の命まで突き詰めて考えている、想像を絶する運営スタッフの決断と奮闘に思いを馳せました。

「国民の命」という言葉があります。昨年来の新型コロナ禍では、この言葉があらゆる局面で出てきます。命に軽重はありません。どの局面においても語られる命の重みは同じです。今、目前には課題が山積みです。医療体制やワクチン・治療薬、感染症対策における法改正、生活と企業活動を回す経済政策等々。全ての政策が「国民の命」に関わります。命にかかわる責任の重さを受け止め、国会議員としての活動を続けて参ります。

8月28日から始まるパラリンピック。新型コロナに最大限の備えをし、その渦に負けないよう、すべての選手やスタッフ、運営スタッフやボランティアの皆様のご健闘とご健康を心よりお祈りし、世界に再び感動の輪が広がることを希望いたします。

後援会入会申込書ご紹介者様(

)FAX0742-35-8633

ご友人・お知り合いの方をご紹介ください

令和 年 月 日

お名前	ふりがな() 男 女	お電話	
ご住所	〒	生年月日(年 月 日)	

プロフィール

自由民主党奈良県第一選挙区支部長
衆議院議員

小林 しげき



昭和39年10月9日生。奈良県奈良市出身。
奈良市立平城小学校、登美ヶ丘中学校、清風高等学校、慶應義塾大学法学部卒業
平成6年 三和住宅㈱入社
平成14年 奈良青年会議所理事長
平成23年 奈良県議会議員 2期目当選
平成23年 自由民主党奈良県第一選挙区支部長
平成24年 衆議院議員 初当選
平成29年 衆議院議員 2期目当選